

# かりや市議会だより

〔第129号〕

議会だよりは市民のみなさんと  
議会をつなぐ「かけはし」です  
ぜひ御一読を

かつなりくん



～刈谷市議会は、議会基本条例を制定し「市民に開かれた議会」・「市民に信頼される議会」を目指して議会活性化に取り組んでいます。～



選手代表誓いの言葉（小山巧選手）

## 「ものづくりのまち刈谷」世界へ！！

平成27年3月26日 技能五輪国際大会・国際アビリンピック市内企業日本代表選手 壮行会  
第43回技能五輪国際大会 平成27年8月11日～8月16日 ブラジルサンパウロ  
第9回国際アビリンピック 平成28年3月23日～3月26日 フランスボルドー

市制65周年  
歴史と未来が輝くまち  
かりや

## 平成27年度予算を可決 総額約879億円

「住みやすい」「住み続けたい」  
「住んでみたい」「まち かりやへ  
未来への夢と希望を  
育む施策を推進

主な記事	ページ
27年度予算 議決した議案	2～3
主な議案	3
委員会の動き	4
質問質疑	4
議案の賛否	5～7
	8

## 3月定例会のあらまし

この定例会は2月19日に招集され、会期34日間で3月24日に閉会しました。

今回は議案など44件と請願1件が提出されました。

主な議案は、平成27年度予算についてと、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定についてなどです。

### ◆2月19日 本会議

（施政方針、議案説明など）

市長から平成27年度施政方針と提出した議案の大綱についての説明があり、続いて教育長から平成27年度教育行政方針が述べられました。

その後、平成26年度補正予算議案4件、平成27年度予算議案8件をはじめとする各議案の説明を受け、関係する委員会で審査することとなりました。

### ◆3月3日、4日、6日 本会議

（質問・質疑）

18人の議員が46項目にわたり、一般質問と平成27年度予算の質疑を行いました。

### ◆6日 予算審査特別委員会

予算議案の審査のため、分科会を設置し審査することになりました。

### ◆10日、13日 委員会、分科会

議案が審査され、委員会や分科会での採決が行われました。

### ◆23日 予算審査特別委員会

分科会での審査の経過と結果が報告され、予算議案の採決が行われました。

### ◆24日 本会議（採決）

各委員長より、委員会での審査の経過と結果が報告されました。市長提出議案の一部について反対意見がありました。議員提出議案のうち可決され、議員提出議案「刈谷市中小企業振興基本条例の制定について」は起立少数により否決されました。また、請願第1号は原案のとおり採択されませんでした。

3月議会を通しての傍聴者は延べ88人です。

## ★傍聴をお待ちしています★

### \* 6月定例会の開催予定 \*

- 5月22日（金） 議会運営委員会（運営を協議）
- 6月3日（水） 本会議（開会、一般質問など）
- 4日（木） 本会議（一般質問）
- 5日（金） 本会議（一般質問、議案説明）
- 5日（金） 予算審査特別委員会
- 11日（木） 企画総務委員会
- 12日（金） 福祉経済委員会
- 15日（月） 建設水道委員会
- 16日（火） 文教委員会
- 19日（金） 予算審査特別委員会
- 19日（金） 議会運営委員会（運営を協議）
- 22日（月） 本会議（採決など）

各会議は10時から開会します。当日各受付までお越し下さい。  
本会議：市役所10階、傍聴受付  
委員会：市役所9階、議会事務局受付  
○託児を希望される方へ（生後6ヶ月以上の未就学児、先着順）  
傍聴の際、臨時保育室「カンガールーム」をご利用になれます。  
傍聴希望日の3日前までに議会事務局までご連絡ください。  
○手話通訳を希望される方へ  
傍聴の際、手話通訳者派遣制度をご利用できます。  
傍聴希望日の1週間前までに福祉総務課  
（TEL 62-1208 Fax 24-3481）までご相談ください。  
一般質問KATCH放映（106ch）  
6月5日（金）、9日（火）、12日（金）でいずれも18時から。  
詳しくはチャンネルガイドをご覧ください。





**未来への夢と希望を育む施策を推進  
総額 879 億 3,500 万円を可決**  
— 予算審査特別委員会のあらまし —

平成27年度予算は、本会議での質問・質疑に続き、全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、各分科会で審査されました。一部の予算に反対意見がありましたが、起立採決の結果、賛成多数で可決されました。

本会議での質疑  
質問・質疑では、市長にその方針を問いました。

本会議での質問  
質疑については、5〜7ページの「質問質疑」をご参照ください。

**分科会・委員会での審査**

質問・質疑終了後、予算審査特別委員会を経て各分科会で審査されました。

23日に開催された予算審査特別委員会では、各分科会での審査の経過と結果が報告され、一般会計、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の各特別会計の計4議案に反対の意見がありました。採決の結果、賛成多数により原案のとおり可決されました。

24日の本会議では、予算審査特別委員会の報告を受け、討論が行われました。

討論では、デフレ不況下に市長、副市長、教育長と議員の報酬等が引き上げられること、燃料電池自動車の購入補助は企業優遇であること、刈谷城築城は時間をかけて市民と対話する必要があること、などにより反対であるとの意見が出されましたが、採決の結果、議案はいずれも原案のとおり可決されました。

**【分科会での主な質疑】**

**■企画総務**

公共施設等総合管理計画について／街頭防犯カメラの設置に

ついて／まち・ひと・しごと創生総合戦略について／地域活動の活性化について／個人番号カードの交付について／市制65周年記念事業について

個人番号カード  
〔問〕個人番号カードには、何が記載されるのか。また、身分証明書となるのか。

〔答〕個人番号カードには、個人番号のほか、顔写真、住所氏名、生年月日、性別が記載され、運転免許証と同等の公的な身分証明書となる。

〔問〕個人番号カードを紛失した場合、第三者にカードの情報を読み取られてしまう可能性はないのか。

〔答〕個人番号カードのICチップは、情報セキュリティ機能評価の国際基準に基づいた安全性の高いものであるため、個人情報を読み取られることができない仕組みとなっている。

**■福祉経済**

夢と学びの科学体験館リニューアルについて／ハイブリッドアグリについて／臨時福祉給付金の継続について／子育てコンシェルジュについて／避難所の太陽光発電システム設置について／重度障害児・者等への短期入所支援について／子ども子育て支援システムの導入について／公立保育園の運営委託について

**避難所の太陽光発電設備**

〔問〕市指定の避難所に太陽光

発電設備が完備することになるが、災害時の停電の際、発電した電気により、どの程度、電力を賄えるのか。

〔答〕太陽光発電により発電ができれば、必要最低限の電力を供給することができ、太陽光発電により発電ができない場合も、蓄電池により夜間1日分の必要最低限の電力を供給することができる。



**■建設水道**

みなくる広場ステージの屋根の設置について／スマートインターチェンジ設置の検討状況

〔問〕刈谷ハイウェイオアシスにおけるスマートICの設置について、検討状況はどうか。

〔答〕スマートICの設置による将来の交通需要や一般道との接続形態などについて検討を進めている。また、ハイウェイオアシス北側の名古屋岡崎線との関連もあり、国、県、中日本高速道路株式会社などの関係機関との調整もあわせ

**■文教**

特別支援学校・第一学校給食センターの実施設設計について／電子黒板の導入について／宮西史博物館建設予定地の地質調査について／刈谷東中学校の大規模改修経費について／いじめ及び不登校児童の生徒指導について／図書館創立100周年記念事業について

**小学校に電子黒板の設置**

〔問〕小学校への電子黒板の導入により、どのような教育効果を期待しているのか

〔答〕デジタル教科書からとった画像を「表示する機能」、重要な部分に直接「書き込む機能」、書き込んだ内容を「保存する機能」、これらの機能を活用し、子どもの注意を引き、学習に対する興味・関心を高めることが期待される。

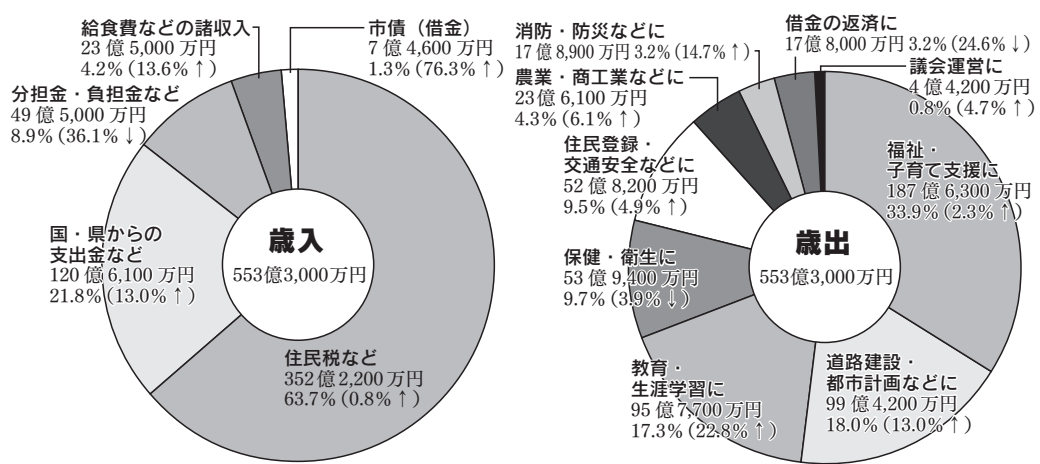
**宮西達也展の開催**

〔問〕宮西達也展開催事業の経費が、他の企画展に比べ、多額であるのは、どういう理由からか。

〔答〕作品の魅力や高い知名度に加え、作家初の全国巡回展であることから、多くの来場者が見込めること、同作家の絵本や関連するグッズの購入と売り上げ経費を計上しているからである。



**一般会計の内訳** ( )内は対前年度比



**27年度予算の総額**

会計名	本年度	前年度比較	伸び率
予算総額	879 億 3,500 万円	73 億 8,000 万円	9.2%
一般会計	553 億 3,000 万円	35 億 9,000 万円	6.9%
特別会計	283 億 6,300 万円	35 億 1,600 万円	14.2%
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	3 億 1,800 万円	▲ 1,200 万円	▲ 3.7%
刈谷野田北部土地区画整理事業	1 億 4,400 万円	2,500 万円	21.2%
下水道事業	58 億 7,000 万円	11 億 7,300 万円	25.0%
国民健康保険	135 億 9,000 万円	19 億 3,300 万円	16.6%
後期高齢者医療	14 億 9,100 万円	6,500 万円	4.5%
介護保険	69 億 5,000 万円	3 億 3,200 万円	5.0%
企業会計	42 億 4,200 万円	2 億 7,400 万円	7.0%
水道事業	42 億 4,200 万円	2 億 7,400 万円	7.0%

※百万円単位で四捨五入しています

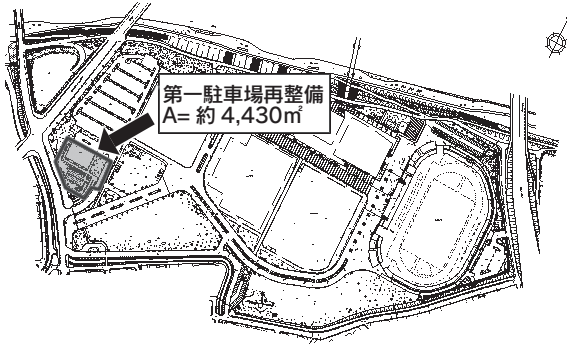
〈国・県からの支出金などの内訳〉国庫支出金、県支出金、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特別交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金  
 〈分担金・負担金などの内訳〉分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金  
 〈農業・商工業などの内訳〉農林水産業費、労働費、商工費、災害復旧費、諸支出金、予備費  
 (注)金額は百万円単位、割合は小数点以下第一位で四捨五入しているため、総額や割合と一致していない場合があります。



# 平成27年度予算に見る主要事業

## 都市環境分野・・・ 都市と自然が織りなす住みよいまちづくり

- ◆電力使用量を可視化する「住宅用エネルギー管理システム（HEMS）」の普及を促進
- ◆みなる広場ステージの屋根の設置とともに刈谷駅のトイレを改修し、利便性を向上
- ◆総合運動公園の大規模改修により、一般車駐車台数を約140台増加



総合運動公園の駐車場を再整備

## 産業振興分野・・・ 人と技術で賑わいを創り笑顔で働き続けられるまちづくり

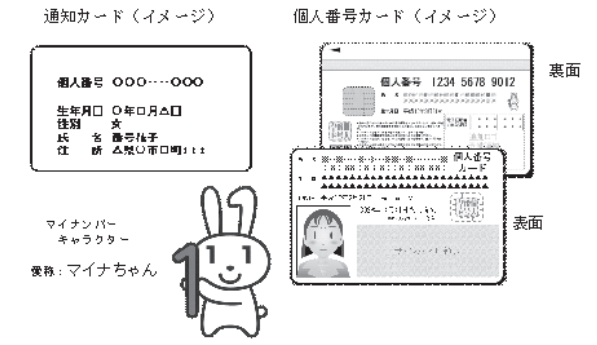
- ◆工場等の新增設をする企業へ補助を行い、企業の流出防止・企業立地を促進
- ◆西三河の観光スポットの最適ルートをスマートフォン等に表示させるシステムを導入
- ◆農業者団体に選定された新規就農者が地域特産物を栽培する取り組みを支援



新規営農者による地域特産物栽培を支援

## 計画推進分野・・・ 市民と行政の信頼と協働で築くまちづくり

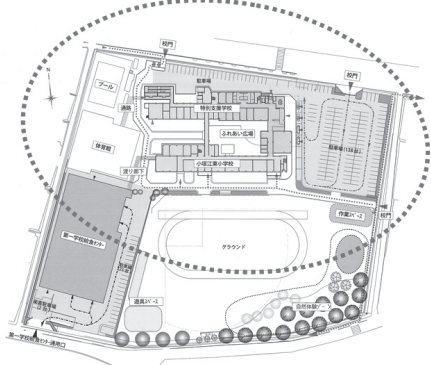
- ◆まち・ひと・しごと創生法に基づき、(仮称)刈谷市版総合戦略を策定
- ◆公共施設等総合管理計画を策定し、長期的視点で効率的な老朽化対策を実施
- ◆社会保障・税番号制度の開始に伴い、通知及び個人番号カード交付の環境を整備



個人番号カード（イメージ）

## 教育文化分野・・・ 生きる力を育み生きる喜びを実感できるまちづくり

- ◆小垣江東小学校に肢体不自由に特化した特別支援学校を併設するための実施設計を実施
- ◆刈谷の歴史資料や文化財を保存・管理する歴史博物館の実施設計を実施
- ◆夢と学びの科学体験館をオープンし、理科教育の刈谷として次代を担う人材を育成



平成 30 年 4 月の開校を予定（特別支援学校）

## 福祉安全分野・・・ 支えあいみんなが元気で安心して暮らせるまちづくり

- ◆高齢者福祉センター内に、成年後見制度に関する相談等の窓口を創設
- ◆子育て支援センター・幼稚園・保育園等に「子育てコンシェルジュ」を配置
- ◆消防団の訓練啓発活動や救助活動用資器材を充実し、大規模災害に対応



消防団活動を支援

## 市制65周年記念事業・・・ ～歴史と未来が輝くまち かりや～

- ◆婚姻届提出記念として記念品を贈呈し、記念撮影サービスを実施
- ◆夢と学びの科学体験館オープニング記念事業として、米村でんじろう先生によるサイエンスショー等を実施（総合文化センター等で開催）
- ◆そのほか「チビッコ甲冑行列開催事業」等全15事業を実施



夏休みにはでんじろう先生がやってくる

議決結果一覧表		(※)：賛否が分かれたもの
損害賠償の額を定める専決処分について		了承
刈谷市土地開発公社事業計画等について		了承
功労者の推薦について		同意
監査委員の選任について		同意
【企画総務委員会関係 10議案】		すべて可決
刈谷市行政手続条例の一部改正について		すべて可決
刈谷市職員の公益的法人等への派遣に関する条例の一部改正について		すべて可決
刈谷市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について(※)		すべて可決
特別職に属する職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について(※)		すべて可決
刈谷市特別職報酬等審議会設置条例及び特別職に属する職員の退職手当支給条例の一部改正について(※)		すべて可決
職員の給与に関する条例の一部改正について		すべて可決
刈谷市職員退職手当支給条例の一部改正について		すべて可決
刈谷市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について		すべて可決
刈谷市消防団条例の一部改正について		すべて可決
刈谷市報酬額及び費用弁償額並びにその支給方法に関する条例の一部改正について(※)		すべて可決
【福祉経済委員会関係 5議案】		すべて可決
刈谷市介護保険条例の一部改正について(※)		すべて可決
刈谷市介護サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について		すべて可決
刈谷市児童クラブ施設条例の一部改正について		すべて可決
刈谷市保育の実施に関する条例の廃止について(※)		すべて可決
刈谷市立保育所設置条例の一部改正について(※)		すべて可決
【建設水道委員会関係 3議案】		すべて可決
市道路線の認定について		すべて可決
刈谷市公共駐車場条例の一部改正について		すべて可決
刈谷市手数料条例の一部改正について		すべて可決
【文教委員会関係 6議案】		すべて可決
西三河地方教育事務協議会規約の一部変更について(※)		すべて可決
刈谷市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する等の条例の制定について(※)		すべて可決
刈谷市教育委員会教育長の勤務時間等に関する条例の制定について(※)		すべて可決
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について(※)		すべて可決
刈谷市コミュニティ施設条例の一部改正について		すべて可決
刈谷市生涯学習センター条例の一部改正について		すべて可決
【予算審査特別委員会関係 13議案】		すべて可決
平成26年度補正予算		すべて可決
一般会計補正予算(第5号)(※)		すべて可決
下水道事業特別会計補正予算(第2号)		すべて可決
後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		すべて可決
介護保険特別会計補正予算(第3号)		すべて可決
一般会計補正予算(第6号)(※)		すべて可決
平成27年度予算		すべて可決
一般会計予算(※)		すべて可決
刈谷小垣江東部土地地区画整理事業特別会計予算		すべて可決
刈谷野田北部土地地区画整理事業特別会計予算		すべて可決
下水道事業特別会計予算		すべて可決
国民健康保険特別会計予算(※)		すべて可決
後期高齢者医療特別会計予算(※)		すべて可決
介護保険特別会計予算(※)		すべて可決
水道事業会計予算		すべて可決
【請願 1件】		採択
子宮頸がんワクチン（HPVワクチン）副反応被害者救済と接種後の全体調査を求める請願		採択
【議員提出議案 3議案】		採択
刈谷市中小企業振興基本条例の制定について(※)		採択
刈谷市議会条例の一部改正について(※)		採択
子宮頸がんワクチン（HPVワクチン）副反応被害者救済と接種後の全体調査を求める意見書 ※意見書全文を7ページに掲載		採択



# 主な議案 3月 定例会

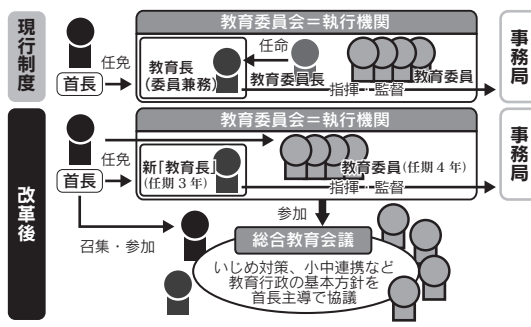
今回は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定についてなどです。(議案の一覧は、前ページを参照ください)  
質疑については、主なものを中心に、要約して掲載します。

## 条例議案

■地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

教育委員会委員長と教育長を一本化

新教育委員会制度が開始  
教育委員会委員長と教育長を一本化した新たな教育長の設置等、教育委員会の組織・運営の見直しに伴い、関係条例を改正します。



新たな教育委員会制度の概要



おた ちから  
**太田 力氏**  
(トヨタ車体株式会社常勤監査役)

■監査委員の選任について  
前任者が平成27年3月31日で任期満了となるので、後任として次の方を選任することに同意しました。

## 3月 定例会

〔問〕駐車場の利用者に駅周辺店舗の従業員が多いことから、夜間のみ安い定期券を発行するよう提案をしたがなぜ定期にならなかったのか。

〔答〕夜間定期券を発行する場合、一般利用者や産業振興センター利用者、民間の月極め駐車場への影響などを考慮した上で、夜間定期券の利用時間帯や金額、発行枚数などの検証を行う必要がある。  
4月からの夜間使用料の割引による利用状況の変化も含めて、調査研究を継続していきたい。

■その他、刈谷市特別職報酬等審議会の答申や人事院勧告等を鑑みて、議員・特別職等(市長・副市長・教育長)の報酬及び給与等を引き上げる条例改正について、消費税増税による不況と所得格差が広がっている中、行政運営にかかわる議員として、報酬の引き上げには反対であるとの意見や、7月の選挙まで議員報酬の引き上げを見送るといった修正案が出されましたが、採決の結果、原案のとおり可決されました。

## 刈谷駅北口の迷惑駐車を解消 相生駐車場の夜間使用料が

刈谷駅北口の産業振興センターに併設されている相生駐車場の夜間の使用料を次のとおり改正します。

区分	改正前	改正後
午前6時～午後6時	30分ごとに100円	30分ごとに100円
午後6時～翌日午前6時	100円	1時間ごとに100円

## 補正予算議案

全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、企画総務、福祉経済、建設水道、文教の各分科会で審査されました。  
3月23日に再度予算審査特別委員会を開催し、各分科会での審査結果について、各分科会委員長より報告を受けました。  
また、国の補正予算で措置される地域活性化、地域住民生活等緊急支援交付金の交付に伴う補正予算案が本会議に上程され討論が行われました。討論では国の地方創生そのものに問題があるため反対などの意見がありましたが、採決の結果、いずれも原案のとおり可決されました。

補正する額(一般会計) 20億9,798万円

補正後の予算(一般会計) 561億7,314万円

補正後の予算総額(全会計) 855億236万円

※市民の方等から貴重なご寄附をいただきました。補正予算に計上し活用させていただきます。  
・児童館事業費として 5,000万円  
・公園事業費として 18万6千円

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金

平成26年12月に閣議決定された「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」に基づき、国の26年度予算より交付されます。  
交付金を活用して実施される主な事業は次のとおりです。  
(商工)

刈谷商工会議所・刈谷市商店街連盟が発行するプレミアム商品券にかかる経費等を補助  
1億2,200万円

## 委員会の動き

各委員会では議案審査のほか、所管事務調査として次のことが話し合われました。

### 企画総務委員会

市勢要覧概要版  
マイ刈谷 住むなら刈谷、私のベストプレイス

〔問〕定住促進活動の一環として、作成が進められている市勢要覧概要版の内容は。  
〔答〕本市の魅力を紹介し、刈谷市に住んでみたいと思っただけのような内容になっている。また、これから住まいを探す20代30代の子育て世代を意識して作成をしている。その他「青山斎園の墓地の増設」「刈谷市総合教育会議」「市内業者を参加資格要件とした入札」などが話し合われました。



### 福祉経済委員会

子宮頸がん予防ワクチン接種後の副反応に対する支援

〔問〕ワクチン接種後に長時間持続する痛みや脱力等の症状が出るなど副反応の問題が報告されている。今後、この問題に対し、本市も支援を講ずべきと考えるがどうか。  
〔答〕本市にも副反応を訴えている方がみえる。医療費等を支援する場合の認定方法や助成範囲など、さまざまな課題はあるが、苦しんでみえる方

### 建設水道委員会

県営防災ダム事業岩ヶ池地区

〔問〕ため池の堤防が地震などによって決壊すると、地域住民に甚大な被害をもたらす。被害の未然防止などを目的とした防災ダム事業について、完成までのスケジュールは。  
〔答〕地区要望である水質浄化対策、周辺の環境対策等を地元の方々と話し合い、合意が得られれば、平成29年度の工事着手を目指して、県と調整していく。

### 文教委員会

(仮称)刈谷市立特別支援学校・第一学校給食センター基本計画・基本設計

〔問〕支援学校と小垣江東小学校の子どもがともに学び、交流し、理解し合える活動とはどのようなものか。  
〔答〕授業を一緒に受けることや運動会・音楽会など各種の行事を合同で企画し、交流することなどを考えている。

その他「刈谷市いじめ防止基本方針」「第3次刈谷市生涯学習推進計画」などが話し合われました。



# 質問・質疑 市政のご質問

この定例会では3月3日・4日・6日の3日間に、18人が登壇し46項目にわたり、市政についてたずねる質問・質疑が行われました。一人一項目を要約し、掲載します。

## 一般質問項目（発言順）※印が掲載した項目です。

- 上田 昌哉 議員 ※1 刈谷市の現状と今後について
- 命の大切さについて
- 訪問看護について
- 鈴木 絹男 議員 ※1 施政方針及び議案の大綱及び教育行政方針について
- 平成27年度当初予算について
- 中嶋 祥元 議員 ※2 平成27年度重点要望について
- 駅周辺の分煙対策について
- 地域コミュニティの充実について
- 岡本 優 議員 ※3 刈谷ハイウェイオアシスを日本を代表する名所（集客施設）へ
- 小規模企業者への支援について
- 清水 行男 議員 ※1 市街化調整区域の下水道の整備促進について
- 南部地域の市街化予定地等の土地利用について
- 山本 シモ子 議員 ※2 洲原温水プール事故の被害者補償について
- 市民を救済する市営住宅の充足について
- 子ども・子育て支援新制度移行について
- 市長の政治姿勢と予算案について
- 教育行政について
- 新海 真規 議員 ※1 平成27年度施政方針について
- 平成27年度教育行政方針について
- 蜂須賀 信明 議員 ※1 刈谷市の多文化共生社会の現状について
- 刈谷市の多文化共生社会での学校教育について
- 白土 美恵子 議員 ※2 平成27年度当初予算、主要施策について
- 女性の活躍推進について
- 星野 雅春 議員 ※1 刈谷市政の課題について
- 教育行政方針について
- 新川 健治 議員 ※1 災害時医療救護所の設置急務などについて
- 市内巡回バス（公共施設連絡バス）停250mおきの設置について
- 働き方は正社員が当たり前に
- 野村 武文 議員 ※1 生活密着事業のその後などについて
- 再び刈谷城築城の史実とまちおこしについて
- 医療と介護の充実と負担軽減について
- 渡辺 周一 議員 ※2 他市町との連携について
- 技能五輪・アビリンピックあいち大会について
- 農業の将来像について
- 鈴木 浩一 議員 ※1 平成27年度重点要望について
- インフルエンザ感染拡大防止について
- 神谷 昌宏 議員 ※2 市営住宅の入居について
- 特別養護老人ホームへの入所について
- 保育園への入園について
- 松永 壽 議員 ※3 防犯対策について
- 教育環境について
- 視覚障がい者への支援について
- 山内 智彦 議員 ※1 平成27年度重点要望について
- 黒川 智明 議員 ※2 平成27年度施政方針について
- 刈谷市の道路行政について

質問・質疑のすべての質問・答弁がホームページから映像でご覧いただけます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像をみる」をクリックしてください。

### 上田 昌哉 議員

#### 公共施設の整備にあたり住民参加型公募債の発行を

問 今後の税収減が予想される中、個人市民税の税収を上げる政策はあるか。

答 より住みやすい環境と安定した雇用が市税の確保につながるかと考えており、平成27年度に策定する刈谷市版「まち・ひと・しごと総合戦略」に基づいた施策を展開していく。

問 公共施設の維持管理は適切に行われているか。

答 公共施設維持保全計画に沿って順次推進しており、大規模改修や建替えに基金を活用す

### 鈴木 絹男 議員

#### 地方創生に向け、まちの元気を維持する取り組みを

問 地方創生における国の動きに対し、今後、刈谷市はどのようなことを行っていくのか。

答 全国的な人口の減少を見据えながらも、本市においては人口が増加している現状も踏まえ、独自色を出しつつ、住環境・子育て環境の整備など、人を引きつけ魅力あふれる地域を創生するためのあらゆる分野におけ

### 中嶋 祥元 議員

#### 刈谷駅周辺の分煙対策とポイ捨て防止を

問 刈谷駅周辺のたばこの吸殻のポイ捨ての現状をどのように把握しているのか。また、駅前美化は誰が行っているのか。

答 たばこのポイ捨て状況を調査したところ、1日で300本程度捨てられていた。また、駅前広場の清掃はシルバー人材



住みやすい、住み続けたい、住んでみたいまち かりやへ

### （主な答弁者：企画財政部長）

問 今後の税収減が予想される中、個人市民税の税収を上げる政策はあるか。

答 より住みやすい環境と安定した雇用が市税の確保につながるかと考えており、平成27年度に策定する刈谷市版「まち・ひと・しごと総合戦略」に基づいた施策を展開していく。

問 公共施設の維持管理は適切に行われているか。

答 公共施設維持保全計画に沿って順次推進しており、大規模改修や建替えに基金を活用す

### （主な答弁者：市長）

問 地方創生における国の動きに対し、今後、刈谷市はどのようなことを行っていくのか。

答 全国的な人口の減少を見据えながらも、本市においては人口が増加している現状も踏まえ、独自色を出しつつ、住環境・子育て環境の整備など、人を引きつけ魅力あふれる地域を創生するためのあらゆる分野におけ

### （主な答弁者：建設部長）

#### 刈谷駅周辺の分煙対策とポイ捨て防止を

問 刈谷駅周辺のたばこの吸殻のポイ捨ての現状をどのように把握しているのか。また、駅前美化は誰が行っているのか。

答 たばこのポイ捨て状況を調査したところ、1日で300本程度捨てられていた。また、駅前広場の清掃はシルバー人材

### （主な答弁者：都市整備部長）

問 今後の税収減が予想される中、個人市民税の税収を上げる政策はあるか。

答 より住みやすい環境と安定した雇用が市税の確保につながるかと考えており、平成27年度に策定する刈谷市版「まち・ひと・しごと総合戦略」に基づいた施策を展開していく。

問 公共施設の維持管理は適切に行われているか。

答 公共施設維持保全計画に沿って順次推進しており、大規模改修や建替えに基金を活用す

### （主な答弁者：上下水道部長）

問 地方創生における国の動きに対し、今後、刈谷市はどのようなことを行っていくのか。

答 全国的な人口の減少を見据えながらも、本市においては人口が増加している現状も踏まえ、独自色を出しつつ、住環境・子育て環境の整備など、人を引きつけ魅力あふれる地域を創生するためのあらゆる分野におけ

### （主な答弁者：建設部長）

#### 市街化調整区域の計画的な下水道整備促進を

問 市街化調整区域を下水道整備の計画区域に加えた平成22年度以降の整備費が減っているのはどう理由か。

答 調整区域では迂回路確保の困難さや道路幅員の狭さなど施工規模が限定されるためである。

### （主な答弁者：都市整備部長）

問 事実上、事業費の20%程度しか見込めない国庫補助に頼ることなく、市単独での事業促進が図れないものか。

答 下水道整備は国策でもあり、後年に返済を要しない財源として今後も国庫補助金を活用

### （主な答弁者：都市整備部長）

問 確実に受動喫煙を防止するため、喫煙禁止区域を指定する条例を制定すべきと考えられているか。

答 ごみ散乱の防止に関する条例を制定し、たばこのポイ捨て防止についても啓発を行っている。喫煙場所の設置による状況を見た上で、条例化について検討していく。



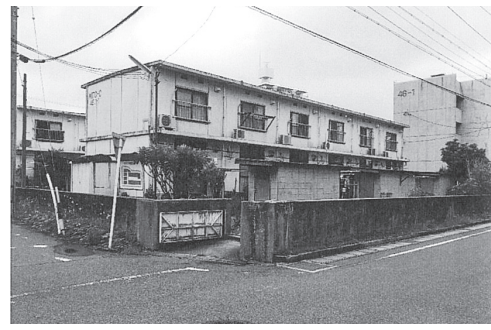
**山本 シモ子 議員**  
**市営住宅の建て替えにあたっては居住者の生活に寄り添った対応を**  
 —入居者の状況に応じ、個別に相談を実施—

**問** 下重原住宅（4階建て）へのエレベータ設置に伴い、2階建て住宅の建替計画がある。1月に入居者に対する説明会が行われたが、4月転居の内容に入居者はショックを受けている。対応をどう考えているのか。

**答** 過去に浸水被害を受けているため、施設に腐食が起こるおそれがある。入居者の安全性確保を最優先と考えている。

**問** 市が転居先に示している住宅は4階建ての2階から4階になる。引越は人生設計に関わる重要な問題で特に高齢者への負担は大きい。この対応は配慮に欠けるのではないか。

**答** 説明会を2回開催し、意向確認を行っている。また、新しい住宅の住戸プランを検討するに当たっては、個別相談も実施している。



市営下重原住宅

**新海 真規 議員**  
**教育の政治的中立性が未永く担保される施策を**  
 —互いに連携を図り、教育施策の推進に取り組んでいく—

**問** 教育委員会制度の見直しにより、何が変わってくるのか。

**答** 改正の主なものは、教育委員会を代表する教育委員長と、事務局を総括する教育長を一本化した新教育長を置くことである。新教育長は、市長が議会の同意を得て直接任免・罷免を行うこととなり、任期も4年から3年に変更される。

**問** 刈谷市のようによい未来像を描き上げるためにも、今後設置される総合教育会議において、政治的中立性が未永く担保される

**答** 市長と教育委員会は、お互いの立場を尊重し、まずは子ども達が健やかに育つことを願っている。両者の間で自由な意見を交換し、調和を図ることが大切であると考えている。これまで、教育の政治的中立性、施策の継続性・安定性の確保等は、改正前・後にかかわらず保たれていると認識しており、今後も互いに連携を図りながら、教育施策の推進に取り組んでいく。

**蜂須賀 信明 議員**  
**多文化共生の観点で子ども達に学習支援を**  
 —お互いに理解し、成長できるよう支援策を研究していく—

**問** 日本語が話せない外国の子ども達に日本語の習得を図り、

**答** 日本語が話せない外国の子ども達に日本語の習得を図り、

は、現在約240名の外国の児童生徒がいる。新年度にプレスクール、プレクラスの語学相談員を増員する計画はあるか。

**答** かりがね小と朝日小に語学相談員を配置しているが、兼務の相談員もいるため、新年度は、朝日小にタガログ語の相談員を単独配置する予定である。

**問** 多様な文化的背景を持つ外国の児童生徒と共生する教育の取り組みが必要である。人生観を大きく成長させる教育支援策を本市の教育に対して望んでいるが、外国の児童生徒に対する学習支援をどう考えているか。

**答** 日本語の習得だけでなく

**白土 美恵子 議員**  
**胃がん等予防のためにピロリ菌検査の実施を**  
 —国の指針に基づき検査を今後も実施していきたい—

**問** 胃がんは、ピロリ菌感染と深く関わっている。簡単な血液検査でピロリ菌の有無や胃がんになるリスクを調べることができると、胃がん検診におけるピロリ菌検査の現状はどうか。

**答** 胃がん検診については、市内医療機関において胃エックス線検査を行っており、ピロリ菌検査は実施していない。

**問** ピロリ菌の感染は、親子ともに口移しで食事を与えるなど唾液を介して感染する。通常4歳から5歳までに感染し、

**答** 胃がん検診については、市内医療機関において胃エックス線検査を行っており、ピロリ菌検査は実施していない。

**星野 雅春 議員**  
**2025年問題への不安を解消する体制構築を**  
 —地域包括ケアシステムの構築により、在宅生活を支援—

**問** 2025年に団塊の世代が75歳以上になり、病院や介護施設が不足する等の大変な時代を迎える。このことを見据えて、地域包括ケアシステムを構築することの何が目指すのか。

**答** 医療や介護、生活支援サービスが適切に提供される体

生活習慣や文化も理解してもらい、日本で自立して生活できる力を身につけてもらいたいと考えている。また、児童生徒だけでなく保護者も安心して働けるように、多文化共生の視点から学習支援策を研究していく。



プレクラスの様子

**問** 日本で感染している人は三千万人以上といわれる。早期に発見・除菌することで胃がん等の予防につながる。岡山県真庭市では中学生に対して検査を無料で実施しており、兵庫県篠山市では学校検診で実施している。中学生を対象としたピロリ菌検査についての考えはどうか。

**答** 国の指針では、検査内容は胃エックス線検査となっており対象年齢は四十歳以上で、中学生を対象としたピロリ菌検査の実施については考えていない。

**問** 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、在宅を基本とした生活を支援することを目指している。

**答** 高齢者等実態調査では、高齢者の約7割が在宅での医療・介護を希望していると聞くが、看護師不足や家族の介護力

などの不安があり、在宅への期待と現実とのギャップがある。これらの不安をどう解消するの

**問** 「住み慣れた地域での支援体制づくり」として、地域のボランティアや住民同士の共助などの地域力で高齢者の生活を支援する介護予防、日常生活支援総合事業、在宅医療介護連携や認知症対策を重点施策として推進していくことで高齢者等の

**新村 健治 議員**  
**災害時における医療救護体制は**  
 —小中学校の保健室を利用し、医療救護所を設置する—

**問** 災害時において、避難所に要救護者が存在する場合、医師・看護師が治療に当たる救護所は開設されるのか。また、医療救護にかかると医療関係団体との協定はどうか。

**答** 医療救護所は市内で最大5カ所の小中学校の保健室を利用して設置することとしている。また、市内の医師会及び歯科医師会との協定では医療救護班を編成して派遣すること、薬剤師会との協定では医薬品など必要な物資を供給するとともに人材

**野村 武文 議員**  
**市民の生活に密着した事業の推進を**  
 —機会を捉え市民が利用しやすい施設整備に努めていく—

**問** 歩道のバリアフリー化の整備状況と重原横断歩道橋の進捗状況は。また、駅のバリアフリー化と公園へのオストメイト対応トイレの設置状況は。

**答** 歩道のバリアフリー化については、今までも進めてきたが、引き続き舗装工事や改修工事に合わせて進めていく。重原横断歩道橋は現在、工事に着手しており、27年度末に完成予定である。また、駅のバリアフリー化は、逢妻駅を残すのみとなっており、オストメイト対応トイレ



介護支援ボランティア（はつらつサポーター）の活動の様子

**問** 避難所での救命医療を迅速かつ適切に行う必要があるが、避難所の運営主体となる地区とどう連携を図っていくのか。

**答** 自主防災会に高齢者や障害者等の避難行動要支援者名簿を提供することや、避難所運営や救命・応急手当て訓練等の協力支援を行っている。また、27年度には消防団にエンジンカッターなどの救助用資機材の配備を予定している。

**問** 以前の歩道橋と比較して改善点は。また、逢妻駅のエレベーター設置工事の完了予定とオストメイト対応トイレの整備予定は。

**答** スロープの幅員を拡幅し、勾配も緩和することで使いやすいつい歩道橋とする。逢妻駅については、28年度末までに竣工を予定している。オストメイト対応トイレは来年度2公園への設置を計画しており、今後も新設、改築時に設置に努めていく。



**渡辺 周二 議員**  
**ふるさと刈谷の農業を守る取り組みを**  
 ―農業者と企業OBの融合など新たな農業形態の確立を目指す―

**問** 市内における農家数や生産者の年齢構成、耕作放棄地の状況はどのようになっているか。

**答** 平成12年に2,081戸あったものが、平成22年には1,636戸と減少しており、生産者の年齢構成は、60代以上の方が全体の88%を占めている。また、耕作放棄地は、平成23年の調査では、約10ヘクタールとなっており、主に北部の畑作地帯に集中している。

**問** 刈谷ハイブリッドアグリ奨励事業の概要はどのようなものか。

**答** 刈谷ハイブリッドアグリ奨励事業の概要はどのようなものか。

**問** 市民の声を届ける会派要望を実現するための事業展開は―子育て支援施策等の拡充に向け、検討を実施していく―

**答** 子育て支援施策等の拡充に向け、検討を実施していく。

**問** 保育園の新年度入園希望状況はどうか。

**答** 0歳〜3歳児を中心に約150名増え、約700名の入園希望があったため、現在、入園のための利用調整をしている。

**問** 120名の収容増に対し、150名の入園希望があり、定員を30名超えているが待機児童解消に向けた取り組みは。

**答** 多様化するニーズを踏まえ、既存設備の活用を検討する。また、預かり保育の利用者が年々増加しているため拡充を図る。

**問** ニーズの高い児童クラブ開所時間拡充の見解は。

**答** 保護者の就業状況等を考慮し段階的に実施してきたが、更なる拡充は指導員確保が必要となる。まずは、低学年を受け入れられる環境を整えていく。

**問** 28年度にさくら・富士松北・社会福祉法人昇人会の3つの保育園、その後銀座AB地区に1つの保育園を予定している。

**答** 会派要望として提出した幼稚園の「認定こども園移行」に対する見解は。

**問** 多様化するニーズを踏まえ、既存設備の活用を検討する。

**答** 多様化するニーズを踏まえ、既存設備の活用を検討する。

**問** 照明器具、壁の一部で補強等の安全対策が必要な箇所があった。また吊り天井が設置されている8箇所については早急な対策を講じる必要があると認められた。

**答** それらの対策工事はいつ

**問** 今後、予定されている歴史博物館建設や城址公園としての亀城公園整備について、本来の目的を改めて伺いたい。

**答** 歴史に学び、文化的に貴重な財産を未来へ継承すること、魅力あるまち、誇りの持てるまちにしていきたいと考えている。また未来を担う子どもたちに我がまち刈谷への誇りと愛着を育んでもらうためのシンボ

**問** 地域密着型特別養護老人ホームはどのような施設で、整備計画はどのようになっているのか。

**答** 利用者が原則所在地の住民に限定される定員29人以下の小規模な特別養護老人ホームで、平成29年度に中部地区に1箇所の開所を予定している。

**問** 地域密着型特別養護老人ホームをもっと増やすことはできるのか。

**答** 地域密着型特別養護老人ホーム29人分の合計89人分の施設整備を進めていく。

**問** 小中学校設備において、非構造部材とはどのような場所を指し、何箇所あるのか。

**答** 体育館・柔剣道場・多目的室などの天井、また建物内部の壁、照明器具、バスケットゴール、スピーカーなどを指し、それらは小学校に16箇所、中学校に14箇所ある。

**問** 平成26年度に行った保守点検の結果はどうか。

**答** 照明器具、壁の一部で補強等の安全対策が必要な箇所があった。また吊り天井が設置されている8箇所については早急な対策を講じる必要があると認められた。



放課後児童クラブ

**神谷 昌宏 議員**  
**特別養護老人ホームなどの施設充実を**  
 ―平成29年度までに合計89人分の整備を進める―

**問** 特別養護老人ホームの待機者は何人いるのか。

**答** 昨年8月の特別養護老人ホームの待機者数調べでは、入

**問** 地域密着型特別養護老人ホームはどのような施設で、整備計画はどのようになっているのか。

**答** 利用者が原則所在地の住民に限定される定員29人以下の小規模な特別養護老人ホームで、平成29年度に中部地区に1箇所の開所を予定している。

**問** 地域密着型特別養護老人ホームはどのような施設で、整備計画はどのようになっているのか。

**答** 利用者が原則所在地の住民に限定される定員29人以下の小規模な特別養護老人ホームで、平成29年度に中部地区に1箇所の開所を予定している。

**問** 地域密着型特別養護老人ホームをもっと増やすことはできるのか。

**答** 地域密着型特別養護老人ホーム29人分の合計89人分の施設整備を進めていく。

**問** 小中学校設備において、非構造部材とはどのような場所を指し、何箇所あるのか。

**答** 体育館・柔剣道場・多目的室などの天井、また建物内部の壁、照明器具、バスケットゴール、スピーカーなどを指し、それらは小学校に16箇所、中学校に14箇所ある。

**問** 平成26年度に行った保守点検の結果はどうか。

**答** 照明器具、壁の一部で補強等の安全対策が必要な箇所があった。また吊り天井が設置されている8箇所については早急な対策を講じる必要があると認められた。

**問** 今後、予定されている歴史博物館建設や城址公園としての亀城公園整備について、本来の目的を改めて伺いたい。

**答** 歴史に学び、文化的に貴重な財産を未来へ継承すること、魅力あるまち、誇りの持てるまちにしていきたいと考えている。また未来を担う子どもたちに我がまち刈谷への誇りと愛着を育んでもらうためのシンボ

**問** 地域密着型特別養護老人ホームはどのような施設で、整備計画はどのようになっているのか。

**答** 利用者が原則所在地の住民に限定される定員29人以下の小規模な特別養護老人ホームで、平成29年度に中部地区に1箇所の開所を予定している。

**問** 地域密着型特別養護老人ホームをもっと増やすことはできるのか。

**答** 地域密着型特別養護老人ホーム29人分の合計89人分の施設整備を進めていく。

**問** 小中学校設備において、非構造部材とはどのような場所を指し、何箇所あるのか。

**答** 体育館・柔剣道場・多目的室などの天井、また建物内部の壁、照明器具、バスケットゴール、スピーカーなどを指し、それらは小学校に16箇所、中学校に14箇所ある。

**問** 平成26年度に行った保守点検の結果はどうか。

**答** 照明器具、壁の一部で補強等の安全対策が必要な箇所があった。また吊り天井が設置されている8箇所については早急な対策を講じる必要があると認められた。

**問** 今後、予定されている歴史博物館建設や城址公園としての亀城公園整備について、本来の目的を改めて伺いたい。

**答** 歴史に学び、文化的に貴重な財産を未来へ継承すること、魅力あるまち、誇りの持てるまちにしていきたいと考えている。また未来を担う子どもたちに我がまち刈谷への誇りと愛着を育んでもらうためのシンボ

**問** 地域密着型特別養護老人ホームはどのような施設で、整備計画はどのようになっているのか。

**答** 利用者が原則所在地の住民に限定される定員29人以下の小規模な特別養護老人ホームで、平成29年度に中部地区に1箇所の開所を予定している。

**問** 地域密着型特別養護老人ホームをもっと増やすことはできるのか。

**答** 地域密着型特別養護老人ホーム29人分の合計89人分の施設整備を進めていく。

**問** 小中学校設備において、非構造部材とはどのような場所を指し、何箇所あるのか。

**答** 体育館・柔剣道場・多目的室などの天井、また建物内部の壁、照明器具、バスケットゴール、スピーカーなどを指し、それらは小学校に16箇所、中学校に14箇所ある。

**問** 平成26年度に行った保守点検の結果はどうか。

**答** 照明器具、壁の一部で補強等の安全対策が必要な箇所があった。また吊り天井が設置されている8箇所については早急な対策を講じる必要があると認められた。

**問** 今後、予定されている歴史博物館建設や城址公園としての亀城公園整備について、本来の目的を改めて伺いたい。

**答** 歴史に学び、文化的に貴重な財産を未来へ継承すること、魅力あるまち、誇りの持てるまちにしていきたいと考えている。また未来を担う子どもたちに我がまち刈谷への誇りと愛着を育んでもらうためのシンボ

**問** 地域密着型特別養護老人ホームはどのような施設で、整備計画はどのようになっているのか。

**答** 利用者が原則所在地の住民に限定される定員29人以下の小規模な特別養護老人ホームで、平成29年度に中部地区に1箇所の開所を予定している。

**問** 公共施設連絡バスを活用した周遊ルートの構築は可能か。

**答** 施設利用の増進を図るよ

**問** 施設利用の増進を図るよ

**答** 施設利用の増進を図るよ

**問** 本市は中心市街地に車が集まる道路形態となっており、渋滞が慢性化している。道路の計画立案から実現までのプロセスを早くすることで、経済効果が増すと考える。基本構想から28年が経過する南北縦貫道路は、整備区間の優先順位をどう考えているか。

**答** 南北縦貫道路は、既存道路の渋滞緩和など効果が見込まれる。整備区間に関わる河川整備等の協議や、交通安全を考慮しながら順次進めている。

**問** 刈谷ハイウェイオアシスにスマートICの設置構想があるが、利用促進及び利便性向上のためには、現在の渋滞対策を講じておく必要がある。市はどのように考えているか。

**答** 県道名古屋岡崎線の未着手区間の早期事業化を国や県に強く要望していく。また現在事業中の市道01-4号線と結ぶことで北部地域における道路ネットワークを強化し、県道岡崎豊明線や豊田知立線などの渋滞緩和を図っていく。

**問** 地域密着型特別養護老人ホームはどのような施設で、整備計画はどのようになっているのか。

**答** 利用者が原則所在地の住民に限定される定員29人以下の小規模な特別養護老人ホームで、平成29年度に中部地区に1箇所の開所を予定している。

**問** 地域密着型特別養護老人ホームをもっと増やすことはできるのか。

**答** 地域密着型特別養護老人ホーム29人分の合計89人分の施設整備を進めていく。

**問** 小中学校設備において、非構造部材とはどのような場所を指し、何箇所あるのか。

**答** 体育館・柔剣道場・多目的室などの天井、また建物内部の壁、照明器具、バスケットゴール、スピーカーなどを指し、それらは小学校に16箇所、中学校に14箇所ある。

**問** 平成26年度に行った保守点検の結果はどうか。

**答** 照明器具、壁の一部で補強等の安全対策が必要な箇所があった。また吊り天井が設置されている8箇所については早急な対策を講じる必要があると認められた。

**問** 今後、予定されている歴史博物館建設や城址公園としての亀城公園整備について、本来の目的を改めて伺いたい。

**答** 歴史に学び、文化的に貴重な財産を未来へ継承すること、魅力あるまち、誇りの持てるまちにしていきたいと考えている。また未来を担う子どもたちに我がまち刈谷への誇りと愛着を育んでもらうためのシンボ

**問** 地域密着型特別養護老人ホームはどのような施設で、整備計画はどのようになっているのか。

**答** 利用者が原則所在地の住民に限定される定員29人以下の小規模な特別養護老人ホームで、平成29年度に中部地区に1箇所の開所を予定している。

**問** 地域密着型特別養護老人ホームをもっと増やすことはできるのか。

**答** 地域密着型特別養護老人ホーム29人分の合計89人分の施設整備を進めていく。

**問** 小中学校設備において、非構造部材とはどのような場所を指し、何箇所あるのか。

**答** 体育館・柔剣道場・多目的室などの天井、また建物内部の壁、照明器具、バスケットゴール、スピーカーなどを指し、それらは小学校に16箇所、中学校に14箇所ある。

**問** 平成26年度に行った保守点検の結果はどうか。

**答** 照明器具、壁の一部で補強等の安全対策が必要な箇所があった。また吊り天井が設置されている8箇所については早急な対策を講じる必要があると認められた。

**問** 今後、予定されている歴史博物館建設や城址公園としての亀城公園整備について、本来の目的を改めて伺いたい。

**答** 歴史に学び、文化的に貴重な財産を未来へ継承すること、魅力あるまち、誇りの持てるまちにしていきたいと考えている。また未来を担う子どもたちに我がまち刈谷への誇りと愛着を育んでもらうためのシンボ

**問** 地域密着型特別養護老人ホームはどのような施設で、整備計画はどのようになっているのか。

**答** 利用者が原則所在地の住民に限定される定員29人以下の小規模な特別養護老人ホームで、平成29年度に中部地区に1箇所の開所を予定している。

**問** 地域密着型特別養護老人ホームをもっと増やすことはできるのか。

**答** 地域密着型特別養護老人ホーム29人分の合計89人分の施設整備を進めていく。



改修予定の柔剣道場(刈谷南中)

**山内 智彦 議員**  
**刈谷の資源を有効活用した魅力づくりへの取り組みについて**  
 ―人とエリアを有機的に結合させる施策を期待―

**問** 今後、予定されている歴史博物館建設や城址公園としての亀城公園整備について、本来の目的を改めて伺いたい。

**答** 歴史に学び、文化的に貴重な財産を未来へ継承すること、魅力あるまち、誇りの持てるまちにしていきたいと考えている。また未来を担う子どもたちに我がまち刈谷への誇りと愛着を育んでもらうためのシンボ

**問** 子どもたちにとって嬉しいエリアであるべきで、行きたくないエリアが必要である。また、エリアとエリアを有機的に結合させる施策について、中心部だけでも魅力ある遊園施設として交通児童遊園やミササガパーク、5月にオープンする夢と学びの科学体験館などがある

**問** 子どもたちにとって嬉しいエリアであるべきで、行きたくないエリアが必要である。また、エリアとエリアを有機的に結合させる施策について、中心部だけでも魅力ある遊園施設として交通児童遊園やミササガパーク、5月にオープンする夢と学びの科学体験館などがある

**問** 子どもたちにとって嬉しいエリアであるべきで、行きたくないエリアが必要である。また、エリアとエリアを有機的に結合させる施策について、中心部だけでも魅力ある遊園施設として交通児童遊園やミササガパーク、5月にオープンする夢と学びの科学体験館などがある

市議会は、本市の公益に関する事件に関し、国会または関係行政庁に本市議会の意志をまとめた意見書を提出することができます。市民からの請願を受け、次の意見書を国へ提出しました。

**子宮頸がんワクチン(HPVワクチン) 副反応被害者救済と接種後の全体調査を求める意見書**

子宮頸がん予防ワクチンとしてサーバリックス及びガーダシルが認可され、刈谷市においても平成23年2月から無料で接種できるようになりました。しかし、ワクチンを接種したことで、痛みにより一時的に気を失ったり、接種後の発熱などの副反応の事例が全国的に報じられています。刈谷市でも7名の副反応が報告され、そのうち2名が現在でも病状回復していないと聞いています。

平成25年6月14日に開催された平成25年度第2回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会において、「子宮頸がん予防ワクチンとの因果関係を否定できない持続的な疼痛が、接種後に特異的にみられたため、この副反応の発生頻度等がより明らかになり、国民に適切な情報提供ができるまでの間、定期接種を積極的に勧奨すべきではない」とされており、現在刈谷市においても接種は無料でできるものの、積極的な勧奨は差し控えられています。

さらに、平成26年10月19日には、全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会愛知県支部が設立され、11月末現在、愛知県だけでも27名の被害者登録があります。その後も4名の被害者と思われる方からの連絡があり、今後も登録者が増加していく可能性があります。

子宮頸がんワクチン副反応に対する治療法は未だ見つかっておらず、原因不明の症状でたくさんの少女や成人女性が苦しんでいます。また、副反応だと気付かず、回復の見込みもなく苦しんでいる方がいることも否定できません。

よって、国においては、以上の現状を踏まえ、以下の事項について適切な措置を講ずるよう強く要望します。

- 1 子宮頸がん予防ワクチン(HPVワクチン)を接種したすべての人を対象とする統一的な健康追跡調査を実施し、因果関係の究明を図ること。
- 2 被害者への手厚い救済を実施し、副反応被害の様々な諸症状の治療法を確立するとともに、検査及び治療費を助成すること。
- 3 学業及び就労に支障をきたしている被害者及びその家族への配慮や支援を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年3月24日

刈谷市議会



### 3月定例会提出議案の賛否について

賛否が分かれたものについて掲載します。(○：賛成 ×：反対 ▲：修正動議 -：退席)

議案名及び 議決結果	会派名及び 議員名	自民クラブ						市民クラブ						公明クラブ		日本共産党 議員団			清風クラブ			志誠会		新 自 民 ク ラ ブ	議 長	副 議 長							
		加藤 峯昭	山崎 高晴	岡本 優	加藤 賢次	清水 行男	渡辺 周二	鈴木 絹男	中嶋 祥元	伊藤 幸弘	黒川 智明	佐原 充恭	鈴木 浩二	山内 智彦	沖野 温志	松永 寿	白土美 恵子	櫻谷 勝	新村 健治	野村 武文	山本シ モ子	上田 昌哉	新海 真規	星野 雅春	神谷 昌宏	蜂須賀 信明	成田 正和	佐野 泰基	前田 秀文				
刈谷市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	▲(注)	▲(注)	▲(注)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
特別職に属する職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
刈谷市特別職報酬等審議会設置条例及び特別職に属する職員の退職手当支給条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
刈谷市報酬額及び費用弁償額並びにその支給方法に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
刈谷市介護保険条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
刈谷市保育の実施に関する条例の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
刈谷市立保育所設置条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
西三河地方教育事務協議会規約の一部変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	-	-	-	-	-	-	-	
刈谷市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する等の条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	-	-	-	-	-	-	-	
刈谷市教育委員会教育長の勤務時間等に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	-	-	-	-	-	-	-	
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	-	-	-	-	-	-	-	
平成 26 年度一般会計補正予算(第 5 号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 26 年度一般会計補正予算(第 6 号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 27 年度予算関係	一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
刈谷市中小企業振興基本条例の制定について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
刈谷市議会委員会条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長のため、採決に加わらない

(注)：議案の修正動議を提出しましたが、起立採決の結果、修正案は否決されました。

### 議会トピックス

■人口減少時代のまちづくりについて研修を実施

2月3日、一般財団法人地域開発研究所主任研究員の牧瀬稔氏を招き、「人口減少時代における地域政策」と題し、研修会を開催しました。

平成 26 年 5 月 8 日に元総務相の増田寛也氏を座長とする民間研究機関「日本創生会議」は、2040 年までに全国の 89.6% の自治体で、20 歳～39 歳の女性が半減するとし、そのような自治体を「消滅可能性都市」として発表しました。

今後は都市間における「定住人口獲得」の競争が激化することが予想されますが、このような時代であることを認識し、本市は「魅力的なまち」選ばれる自治体」を目指した政策を展開していかなくてはなりません。



議員研修会の様子

研修では、住民の福祉(幸せ)の増進を前提とした選ばれる自治体構築のための政策開発についてご講義いただき、本市にとって大変有意義な内容でありました。

今後も、市民の期待に応えられるように、研さんに努めます。

### 編集後記

## かけはし

◆新緑と美しい桜に包まれ迎えた4月の入学式・入社式から1ヶ月が過ぎようとしています。市民の皆様も新しい環境に慣れてきた頃ではないでしょうか。

本市議会では、3月定例会の最終日である3月24日に市制65周年記念事業をはじめとした平成27年度予算案を可決し、新年度のスタートを切りました。

◆議会広報委員会は、8月1日に発行されます6月定例会号の編集が終わり、市議会の改選に伴い委員会委員も改選されます。よって、次号が今期の委員による最後の編集となります。

議会だよりは、1期目の新人議

員5名と4期目のベテラン議員1名で「どうすれば市民の皆様は議会の姿を伝えることができるのか」を常に心がけ、紙面内容やレイアウト構成などの編集にあたってきました。

特にこの1年間は、市民の皆様は「読みやすく」「魅力ある」議会だよりを目指して、時が過ぎるのを忘れてまだ改善すべき点が多く残っているかと思えます。

◆この市議会だよりが市民の皆様に分かりやすく、愛される紙面となり、真に市民の皆様との「かけはし」となるよう努力してまいりますので、お気軽にご意見をお寄せください。

(議会広報委員会)